

平成 22 年度

土曜市民教養教室 (再募集)

信州大学全学教育機構内に信州大学の教養教育の充実・発展に寄与することを目的に「信州大学の教養教育を考える会」を創設し、事業の一環として地域の皆様を対象とした標記教室を平成 20 年 4 月から開講、毎回盛況のうちに終了することができました。引き続き、平成 22 年度も下記の 8 コースを開講致します。多くの皆様に興味をもって頂ければ幸いです。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

脳科学ブームとの“正しい”付き合い方

講師 有路 憲一 (信州大学全学教育機構准教授)

第 1 回 4 月 17 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方—はじめに

なぜ私たちはそれほどまでに脳科学を信じるのか、そしてなぜ脳科学はこれほどまでのブームになったのか、その流れを追う。

第 2 回 5 月 22 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方 (1) 脳トレと認知症

認知症の概要を知り、脳トレーニング(脳トレ)はどのような効果を狙いとしているのか、果たして本当に効果があるのかなど、脳トレに潜む問題点・注意点を明らかにする。

第 3 回 6 月 19 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方 (2) 脳より身体

脳にとっていかに身体が重要な役割を果たしているか様々な事例を基に考え、身体的重要性を改めて確認する。

第 4 回 7 月 17 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方 (3) 早期教育

昨今流行りの「早期教育」に対して、脳科学が支持を与えているかのような誤解をまずは冷静に解き、早期教育にはどのような注意が必要かを脳科学の観点から探る。

第 5 回 8 月 21 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方 (4) ゲームと脳

「テレビゲーム」は脳発達に悪影響を及ぼす恐れがあるかのような言説があるが、その言説には根拠がないことを見た後、テレビゲームとの付き合い方を脳科学の観点から考えてみる。

第 6 回 9 月 18 日 脳科学ブームとの正しい付き合い方 (5) 脳と未来技術

脳科学の発展がいかに私たちの生活を幸せにしてくれるのかを考え、そのためには脳科学とどのように付き合っていけば良いのかを知る。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

韓国「映画・ドラマ」の中の時代背景を学ぶ

講師 延 鎮淑 (信州大学全学教育機構外国語准教授)

第1回 4月10日 韓民族の起源

韓民族の起源及び三国時代(高句麗・百濟・新羅)の建国や発展についてお話しします。

第2回 5月 8日 現在まで時代劇に登場した歴史的人物

韓国映画やドラマに登場した歴史的人物についてお話しします。

第3回 6月12日 映画「王の男」・ドラマ「大長今」

映画「王の男」の中の「燕山君」とドラマ「大長今」の中の王様「中宗」についてお話しします。

第4回 7月10日 映画「光州5・18」

韓国全羅南道光州市で起きた民主化運動を描いた映画「光州5・18」の時代背景をお話しします。

第5回 8月21日 韓国留学生の歴史認識

韓国留学生とお互いの歴史認識について意見交換をします。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

Using Technology for Language Teaching 「コンピュータと言語教育」

講師 Mark Brierley (信州大学全学教育機構外国語准教授)

講師 Jonathon Adams (信州大学全学教育機構外国語准教授)

第1回 4月17日 序論—言語教育に先端技術を使うことの可能性と危険性

(講師: Mark Brierley)

近年、コンピュータはより安価に、インターネットへのアクセスはより速く、広範囲に及ぶようになった。またコンピュータリテラシーはますます低年齢化している。そのような状況を考えるとき、世界中の人々と即時につながることができるだけでなく、動画やオーディオ教材にもアクセスできるコンピュータは、言語教育上、大きな可能性も持っている。同時にいくつかの危険性もある。

第2回 5月22日 プレゼンテーションソフトの魅力

(講師: Jonathon Adams)

パワーポイントのようなプレゼンテーションソフトを使うことで、視覚的に興味深い授

業を行なうことができ、学生のモチベーションを高めることができる。また紙を使わないので、コピーをとる必要が減少し、省エネ、省資源に貢献できる。スクリーンのレイアウトを工夫することで、学生と交流できるアプリケーションを利用することができ、学習に新たな次元を導入できる。

第3回 6月19日 **ビデオの利用と制作** (講師: Mark Brierley)

ビデオは極めて有用な教材である。映像は、学生に興味を抱かせる説得力ある教材であり、視覚的であるゆえに、容易に理解される。既成のビデオを使うだけでなく、教室でビデオを制作することもできる。そうすることで、つまり、その言語を使って創作活動を行うことによって、その言語を能動的に身につけることができる。

第4回 7月17日 **インターネットの無料サイト** (講師: Jonathon Adams)

インターネットには無料で使うことのできる幅広いサイトやソフトがある。無料の情報を提供してくれるおびただしい数のサイトだけでなく、オンラインで独自のサイトを、例えば、グーグルのようなサイトに独自のウェブページをつくることもできる。また言語教育に使うことのできるブログやソーシャルネットワークのサイトも数多くある。

第5回 8月21日 **小テスト作成や他のオンライン活用** (講師: Mark Brierley)

オンラインの教材によって、学生は教室の外でも、興味をもって、またインターラクティブに学ぶことができる。教師に独自の教材や小テストを作ることを可能にしてくれるアプリケーションもいくつかある。Moodle 学習管理システムによって、教師は学生の学習状況を把握することもできる。

注意. 英語による講義ですが、日本語での会話も可能です。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

気分はいつもクマのプーさん～『プー横丁にたった家』を楽しむ

講師 近藤 富英 (信州大学全学教育機構教授)

イギリスの作家A. A. ミルンの生み出した「クマのプーさん」の楽しい続編『プー横丁にたった家』を英語で読みます。プーさんと個性的なキャラクターを持った仲間の動物たちが魔法の森で繰り広げるユーモラスな会話や愉快的なエピソード。新キャラクターのトラーも登場します。新しい資料を盛り込みながら、英国文化と物語の時代背景も紹介します。初めての皆さんも歓迎します。

第1回 4月17日 **第1話: プー横丁にイーヨーの家がたつお話**

プーとコブタは寒さにふるえるイーヨーのために家をたてようとしたのですが、じつはそれが思いもかけないことになります。

第2回 5月22日 **第2話：トラーが森にやってきて、朝ごはんを食べるお話**

ある日とつぜんプーたちの前に現れた腹ペコのトラー。みんなは自分の大好物を上げてみますが、新キャラクターの登場でますます森は賑やかです。

第3回 6月19日 **第3話：捜索隊がそしきされて、コブタがまたゾゾに会うお話**

「チビ」が行方不明になり、捜索隊が組織されました。探している途中でプーとコブタは「ゾゾ」の穴に落ちてしまいます。

第4回 7月17日 **第4話：トラーは木にのぼらないということがわかるお話**

トラーとルーは散歩に行つて木に登りますが、降りられなくなってしまいます。クリストファー・ロビンと動物たちが一緒になって降ろそうとします。

第5回 8月21日 **第5話：ウサギがいそがしく働いて、クリストファー・ロビンがお昼まえになにをするのかが、みんなにわかるお話**

午前中にクリストファー・ロビンが何をしているのか、だれも知りません。ドアには貼り紙がしてあるので、動物たちはあれこれ考えます。

注意. 主に日本語で講義を行います。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

外国人に日本語を教える基礎を学ぼう

一言語学（音声・文法・語彙）・日本語教育の初歩を学ぼう

講師 上條 厚（信州大学全学教育機構教授）

第1回 4月17日 **自分の発音を振り返る**

外国人に日本語を教えるためには、音声学に関する知識があった方がよい。音声（現実に発音され、聞かれる音）・音韻（頭で認識し、規格化された音）とは何か、自分自身の発音はどうなっているか等を考えながら、音声学の初歩を学ぶ。

第2回 5月22日 **国語の文法を振り返る**

文法について考える。日本人は普通に使うことでも、外国人には難しいことが多い。例えば、「読んでいる」と「来ている」の「ている」の表すことの違い、「やる」「くれる」「もらう」の違い等々。こうしたことを考えながら、文法の初歩を学ぶ。

第3回 6月19日 **国語の語彙を考える**

語彙についての考え方を学び、語の表す意味について考える。外国語とも対照して考える。例えば、牛・牛肉は英語で何と言う？ 一月・二月は？ この点、日・英どっちが合理的？ こうしたことを考えながら、語彙についての初歩を学ぶ。

第4回 7月17日 日本語教授法の初歩を学ぶ(1)

外国人に日本語を教える方法について考える。外国語としての日本語で、何をどう教えるべきか等々。外国語教授法の一例として、オーディオ・リンガル・メソッドの実例を、漢語(中国語)・朝鮮語・ベトナム語のいずれかで行う。

第5回 8月21日 日本語教授法の初歩を学ぶ(2) 国語の文字・表記を考える

まず前回の続きをする。外国語教授法の一例として、TPR(Total Physical Response)の実例を、漢語(中国語)・朝鮮語・ベトナム語のいずれかで行う。その後、国語の文字・表記、漢字仮名交じり文について考える。「信州大学の松本にある学部」を「信大の在松学部」と言い換えられる有用性等々を見る。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

活断層の上で松本盆地のでき方を考える (2名再募集します。先着順)

講師 大塚 勉 (信州大学全学教育機構教授)

第1回 4月17日 室内での学習：最近明らかになった松本盆地の怪しい地質現象

松本盆地には牛伏寺断層が存在し、危険な場所であるといわれていますが、将来の災害に結びつく地質現象はどの程度明らかにされているのでしょうか。最近の松本盆地とその周辺地域における調査の結果、これまでに知られていない活断層の存在や、興味深い地質学上の現象が明らかになってきています。最近の研究成果を紹介するとともに、実際に野外で観察する内容について解説します。

第2回 5月15日 松本盆地の怪しい地質現象を訪ねる：

牛伏寺断層・奈良井-霧訪山断層・松本市中心部の断層・アルプス公園・地すべり・火打岩・信濃坂断層

最近、松本周辺で見いだされた活断層の上に、実際に立っていただきます。まず牛伏寺断層と崖の湯温泉付近の活断層露頭、次に塩尻市小野で新たに発見された活断層露頭を観察します。松本盆地の中央部では、突然顔を出す基盤岩類のチャート「火打岩」を訪れ、盆地の底の地形を考えます。さらに盆地西部の山沿いを走る信濃坂断層と、盆地東部を走る活断層の上に立って、松本盆地の成り立ちを考えていただきます。

松本市民の憩いの場であるアルプス公園や城山公園がある丘陵は、最近の変動の結果作られた地形です。地形と地質を観察し、最近の盆地周辺の変動を学びます。最後に松本市中心部を歩きます。ここでは、最近の精密な地形解析に基づいて、活断層の存在が推定されています。

通常の教養教室とは実施方法が異なりますのでご注意ください。

- ① 第1回は室内での講義、第2回は1日を使って野外に出ます。

- ② 第2回の野外は午前9時から午後5時ころまでレンタカーでの移動になります。受講料とは別に諸費用（レンタカー代、ガソリン代、保険料他）を別途ご負担頂くことになります。第2回目については、雨天で延期となった場合の予備日を設けます。
- ③ 定員は7名程度です。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

中国語入門と初級 ―中国のひとり旅―

講師 松岡 俊裕 (信州大学全学教育機構教授)

陳淑梅等著『中国のひとり旅』（駿河台出版社。税込 2,415 円）を用いて 15 回にわたり初級中国語を学びます。

- 第1回 4月10日 発音編 ① (1 声調 2 単母音)
- 第2回 4月17日 発音編 ② (3 複母音 4 無気音と有気音)
- 第3回 4月24日 発音編 ③ (5 子音 6 声調変化)
- 第4回 5月 8日 第1課 你好(はじめまして) ①姓・名の言い方
② “怎么” の2つの使い方
- 第5回 5月22日 第2課 换钱(換金) ① “可以” + 「したいこと」 + 吗?
② 「ちょっと～する」の言い方
- 第6回 5月29日 第3課 订房间(チェックイン) ① “想” + 「したいこと」
②時間の長さ・回数の言い方と語順
- 第7回 6月 5日 第4課 坐出租车(タクシーに乗る) ①月日、曜日と時刻の言い方
②様態補語
- 第8回 6月12日 第5課 点菜(注文) ①買物する時に使われる“来” ② “了” のまとめ
- 第9回 6月19日 第6課 买东西(ショッピング) ① “喜欢” ②量詞の使い方
- 第10回 6月26日 第7課 讲价(値切り) ① “太” + 形容詞 + “了” (あまりにも～すぎる)
②可能補語
- 第11回 7月 3日 第8課 问路(道を尋ねる) ①前置詞“从”、“往” ②疑問詞のまとめ
- 第12回 7月10日 第9課 快餐店(ファーストフード店) ①方向補語 ② “在” のまとめ
- 第13回 7月17日 第10課 买车票(乗車券を買う) ①結果補語 ② “有” のまとめ
- 第14回 7月24日 第11課 寻求帮助(頼みごと) ①使役表現“叫” ②前置詞“给”
- 第15回 7月31日 第12課 丢东西(落とし物) ①助詞“着” ② “是～的” 構文(～のだ)

この「中国語入門と初級 ―中国のひとり旅―」コースの定員は30名です。申し込み順にさせて頂き、定員になり次第締め切らせて頂きます。休んだ場合は録音テープで対応します。

『博士の愛した数式』（小川洋子著）の中の数学を見てみよう

講師 高野 嘉寿彦（信州大学全学教育機構教授）

第1回 4月17日 数にはこんなものがある

小説の中の博士は数の専門家ですが、事故により80分しか記憶を維持することができません。事故以前の記憶はあり、数に対して鋭い感性を持っています。私たちが日頃より慣れ親しんでいる数の中に隠された性質を家政婦さんと一緒に考えましょう。

第2回 5月22日 あなたの誕生日は素数？

古くから人々の興味の対象となってきた素数について見ていきましょう。そこには美しい性質が見えてきます。まさに数の素（もと）です。

第3回 6月19日 完全な数って何？

第4番目の完全数8128までは紀元前に知られていました。第5番目は1456年に発見。現在40数個見つかっています。その難しさを見てみましょう。

第4回 7月17日 素数はどのくらいあるの？

素数が無限に存在することは紀元前300年頃に編集されたユークリッド原論で示されています。一見不規則に現れる素数、素数が全く存在しない大きな範囲も作れます。このような素数の分布についてお話します。

第5回 8月21日 ピタゴラスの定理を一般化すると？

ピタゴラスの定理において、指数を3以上の自然数に置き換えた方程式が整数解をもたないという予想がフェルマー最終定理として約350年間多くの数学者を悩ませた問題で、1995年に解決されました。これに関連した話題についてお話します。

受講料（テキスト代、資料代、交通費等は含みません。）

コース名（講師名）	受講料
脳科学ブームとの“正しい”付き合い方（有路 憲一）	10,500 円
韓国「映画・ドラマ」の中の時代背景を学ぶ（延 鎮淑）	9,000 円
コンピュータと言語教育（Mark Brierley, Jonathon Adams）	9,000 円
気分はいつもクマのプーさん（近藤 富英）	9,000 円
外国人に日本語を教える基礎を学ぼう（上條 厚）	9,000 円
活断層の上で松本盆地のでき方を考える（大塚 勉）	10,500 円
中国語入門と初級 ―中国のひとり旅―（松岡 俊裕）	23,400 円
『博士の愛した数式』（小川洋子著）の中の数学を見てみよう（高野 嘉寿彦）	9,000 円

開講日時の日程表 (原則、土曜日の開講です。)

開 講 日 時	I (10:30~12:00)	II (13:00~14:30)	III (15:00~16:30)
4月3日			
4月10日	松岡(第1回)・延(第1回)		
4月17日	松岡(第2回)・大塚(第1回)	有路・Mark・近藤(第1回)	上條・高野(第1回)
4月24日	松岡(第3回)		
5月1日			
5月8日	松岡(第4回)・延(第2回)		
5月15日	大塚(第2回、1日野外)		
5月22日	松岡(第5回)	有路・Mark・近藤(第2回)	上條・高野(第2回)
5月29日	松岡(第6回)		
6月5日	松岡(第7回)		
6月12日	松岡(第8回)・延(第3回)		
6月19日	松岡(第9回)	有路・Mark・近藤(第3回)	上條・高野(第3回)
6月26日	松岡(第10回)		
7月3日	松岡(第11回)		
7月10日	松岡(第12回)・延(第4回)		
7月17日	松岡(第13回)	有路・Mark・近藤(第4回)	上條・高野(第4回)
7月24日	松岡(第14回)		
7月31日	松岡(第15回)		
8月7日			
8月14日			
8月21日	延(第5回)	有路・Mark・近藤(第5回)	上條・高野(第5回)
8月28日			
9月4日			
9月11日			
9月18日		有路(第6回)	
9月25日			

申し込み方法

- ・ 次頁の電話またはメールによる申し込み (電話は携帯を優先におかけ下さい。)
- ・ 次頁の住所への郵便 (往復葉書) による申し込み (消印有効)
- ・ 次頁の口座への受講料入金による申し込み
(振替用紙の通信欄に希望コース名を明記して下さい。)

なお、申し込み方法は上記になりますが、受講料の入金をもって正式な申し込みとさせていただきます。

受講料入金先

ゆうちょ銀行（郵便局）

口座記号番号：00540-2-59817

口座名称：信州大学の教養教育を考える会

申し込み締切 延コース、松岡コース：平成22年4月 7日(水)
その他のコース：平成22年4月13日(火)

その他

- ・各コースとも正式な申込者が6名以上で開講になります。5名以下の場合には開講しない場合がありますのでご了解下さい。この場合、受講料はご指定の口座に返金致します。
- ・会場は原則、信州大学全学教育機構内（松本キャンパス）です。開講が決まり次第ご案内致します。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

主催 信州大学の教養教育を考える会

代表 松岡 俊裕（信州大学全学教育機構教授）

※ 本会は非営利団体であり、信州大学が運営するものではありません。

住所：〒390-0802

松本市 旭 3-1-1 信州大学全学教育機構内

電話番号・メールアドレス：

松岡 俊裕（代表）

090-1866-4898（松岡携帯）

0263-37-2285（松岡研究室）

tomatsu@shinshu-u.ac.jp

高野 嘉寿彦（副代表）

080-5140-2504（高野携帯）

0263-37-3067（高野研究室）

ktakano@shinshu-u.ac.jp

大塚 勉（常任幹事）

090-7713-4778（大塚携帯）

0263-37-2912（大塚研究室）

otsukat@shinshu-u.ac.jp

名誉顧問 馬瀬 良雄（信州大学名誉教授）



平成20年度前期・大塚講師コース・現地見学



平成20年度前期・近藤講師コース



平成20年度前期・延講師コース